

# しがらい 志賀来ふ

しがらい  
×  
らいふ

vol. ②

2017年7月25日  
志賀来地区  
ふるさと交流実行委員会

発行部数： 部

ふるさと志賀来の今とこれからの暮らしのススメ

第一号をお届けしたところ、沢山のお便りをお寄せ頂きました。もともとこの事業に取組むべきであったと反省しております。今年度は早めに準備会を開催し、皆さんよりの要望を検討しながらの内容となりました。

私の住む新町では、町の民俗無形文化財「送り盆舟っこ流し」を続けております。若者が少ない中、この行事を継続していくことは大変ですが、地区民一同が役割を分担し、今では地区の心が一つになる大切な行事となっています。昨年は、新町が町制されてから340年の節目となったことを記念し、『山車』の更新、保存会の半てん、衣装、婦人会の踊り浴衣を新調し、花火を上げて祭りの継承を誓い合いました。担ぎ手、踊り、太鼓等、他集落の応援を受けながら年々祭りは盛り上がりつつあります。

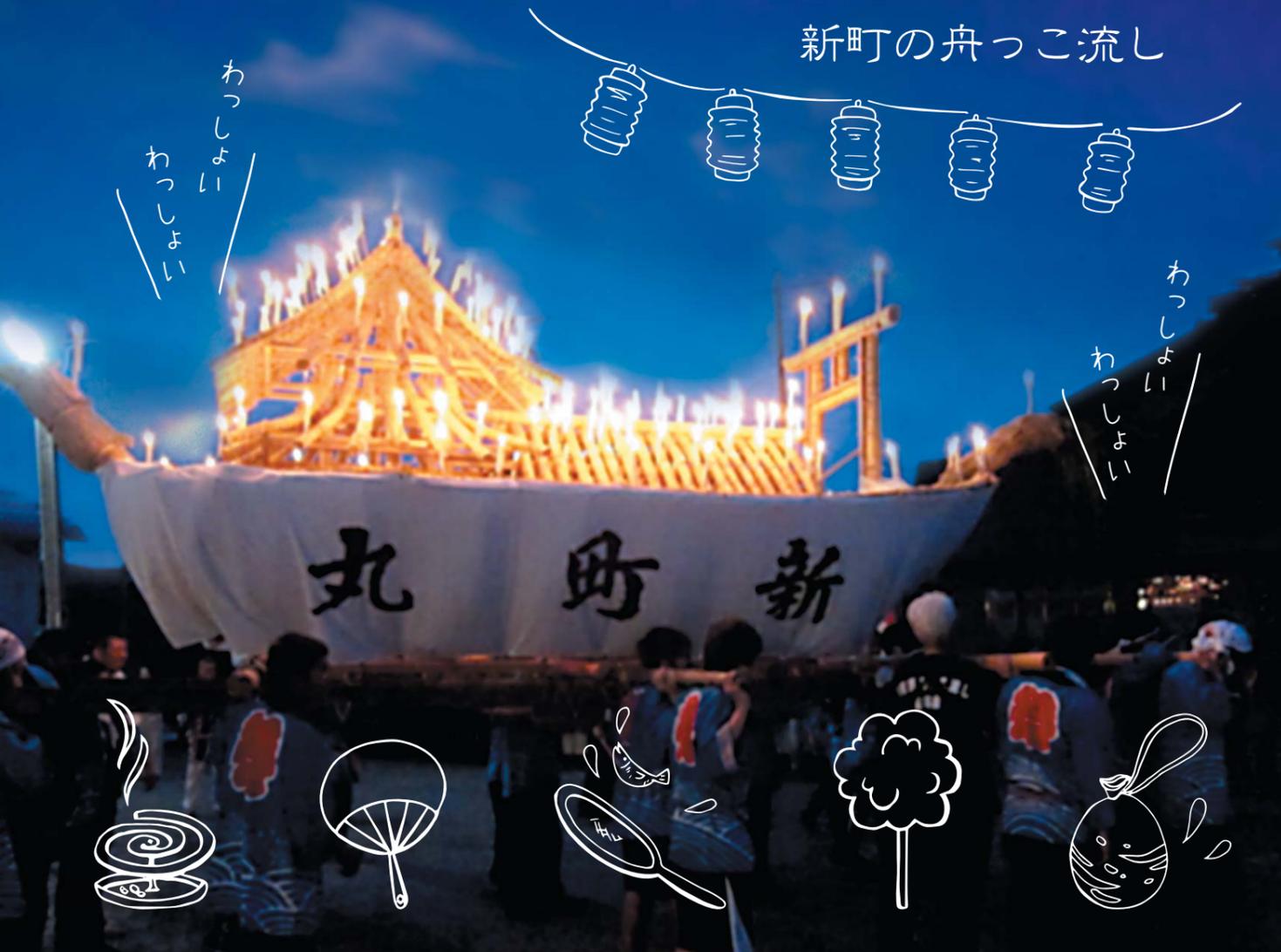
各集落でも懐かしい盆踊りを行っています。帰省の際は是非参加され、一緒に楽しんでください。

皆さんからの感想文・寄稿なども気軽に寄せ下さい。



志賀来地区  
ふるさと交流実行委員会  
会長 佐藤 政信

## 新町の舟っこ流し



志賀来ふ vol. 2 2017年7月25日発行 発行者/志賀来地区ふるさと交流実行委員会 〒029-5611 岩手県和賀郡西和賀町沢内字新町10-19 TEL090-9537-3644(事務局:加藤茂)

## 志賀来地区からのお知らせ news!

坂本神社祭典 平成29年8月3日(木)開始 17:00

雪氷まつり 平成29年8月6日(日)開場 10:00 開演 12:30



場所：志賀来野外ステージ  
志賀来山のマスターズマラソン会場で、昨年から雪氷まつりを復活開催しています。今年も真夏に雪あそびやイワナのつかみどりなど沢内ならではの楽しい企画で参加者を楽しませたいと地元の有志がはりきっています。ぜひ、沢内の豊かな自然と空気を堪能しに来てください。  
主催：志賀来雪氷まつり実行委員会

## 新町 舟っこ流し



平成29年8月16日(日)開始 19:00 場所：新町公民館出発

幻想的に輝くろうそくの火を灯した「舟っこ」を男衆が担いで街道を練り歩き、中学生の担ぐ小舟と、沢内甚句・沢内けんばやし(金塊(かねこもり)の唄)とおいとし節を踊る小学生を乗せた山車がさらに祭りを盛り上げます。杉木立の稲荷神社で送り火を囲んでの盆踊り大会も楽しめます。ぜひ、参加して下さい。  
舟っこを担ぐ希望の方は衣装準備しますので事務局に気軽に連絡下さい。  
主催：新町舟っこ流し実行委員会 事務局：加藤 茂 090-9537-3644

盆踊り 8月13日(日) 鍵飯公民館・下の沢公民館  
8月14日(月) 大野公民館・東大野公民館  
8月16日(水) 新町公民館・太田玉泉寺境内・新町稲荷神社境内 (21時～)

## 第1号の感想

志賀来フ第1号は、775通発送し、34通が未達、合計741名の方にお届けすることができました。そのうち45名の方から暖かい言葉や、今後に対するご意見などを頂きました。ありがとうございました。ここに一部で紹介いたします。

え!!あのトミヒロが地元で頑張っている姿に感激です。控え目ながら前向きな気持ちで地域の方々を支えているんですね。応援しています。

志賀来山、マップ、区長さん、写真等すべてに関係があります。昔の記憶が蘇って非常に楽しい時を過ごさせていただきました。

表紙の真っ赤な志賀来山の写真はとまもキレイでした。この様な写真を季節ごとに見どころや、散策のポイントなどの紹介などあったらいいと思います。沢内には水芭蕉の群生地が観光ポイント。他にも沢山あります。本内川の上流のきれいな清流の写真や、西和賀の神社やお寺の紹介。地区の名物、名人、珍人(?)珍プレー好プレー写真などあったら楽しいと思います。

美術の写生の時間に絵筆を動かすのは数分で、あとは親友とずうっとおしゃべりしていた事を鮮明に思い出しました。

雪国の楽しさを伝えるイベントの中で「スノーボード」の記事がありました。有り余る雪の活用が素晴らしく、どんどん推し進めていってほしいです。

若い方々の就農や起業を助ける制度が充実すると良いと思う。仕事がないと生活できない…となると帰りたくても帰れない人もいるのでしょうか?



# こんなこともしています イベント

雪を活用した取り組みが平成19年度から開始！今回は第2回目の様子を紹介します。



「ユキノチカラ」アピールスタッフ 町長も参加

## 今後のイベント

- 「沢内銀河高原ビールまつり」  
平成29年7月23日（日）  
会場：ホテル森の風沢内銀河高原特設会場
- 「志賀来雪氷まつり」  
平成29年8月6日（日）  
会場：志賀来野外ステージ
- 「SNOW TERRACE（真夏の雪遊び）」  
平成29年8月11日（金・祝日）  
会場：クロステラス盛岡

にしわがの雪がつかない地域と人  
『いわて雪の活用連携プロジェクト』

西和賀の雪を活用した取り組みが、昨年の8月11日（祝日）に盛岡でも開催されました。志賀来雪氷まつりで使われた雪がリサイクルされ、盛岡さんさ踊り会場に雪だるまとして設置されたほか、盛岡市中心街にあるクロステラス盛岡とモスビルを会場に『BEER TERRACE「真夏の雪見酒」』として開催され、数千人

の来場者がありました。今年さらに、『いわて雪の活用連携プロジェクト2017』として、「志賀来雪氷まつり」と「沢内銀河高原ビールまつり」と「SNOW TERRACE（真夏の雪遊び）」の3つのイベントが連携します。

## 志賀来の風景



写真上：沢内第一小学校区付近の航空写真（平成22年7月13日撮影）  
写真右：沢内第一小学校校舎  
写真左：緑地整備・草刈り作業（7月）  
いずれも、沢内第一小学校記念誌「流れひとすじ」より抜粋



### ←風景写真も追加

こんにちは、東大野区長（分訳・内の沢）分訳の長兵衛の義雄です。皆様お元気で過ごすごでしょうか？お盆や正月には帰省されていますか？お盆に遠くの地で過ごされた方も、きっと故郷の懐かしい太鼓の音

# づあいさつ

## 故郷の山と美男美女

### 東大野



東大野区長  
高橋 義雄さん

が聞こえてきていることと思います。写真は、眺めながら学校に行ったり真昼山、眺めながら家に帰った志賀来山、彦惣山、長畑、そして南本内岳の山々です。そしてそこで暮らしている若々しい健康的な美男美女達です。寝たきりの方もなく、例年敬老会は70%を超える高い出席率で、楽しいひと時を過ごしています。しかし、農業を取り巻く環境は厳しい状況になってきており、後継者の問題を抱え、法人等に委託したり貸したりする方が増えていきます。農業をやりたい方は、今が決断する良い機会と 생각합니다。ふるさととはそんな貴方に希望を抱いています。お待ちしております。



昭和39年度  
新町小学校



新町小学校校舎



太田小学校校舎



昭和39年度  
太田小学校

## 懐かしい卒業写真

沢内第一小学校の卒業集合写真を3～4学年ずつ紹介します。



平成17年度



平成18年度

志賀来全6地区のうち2地区ずつ、区長から近況報告とづあいさつです。

## 春夏秋は大豆と蕎麦と米 冬もステキな大野

### 大野



大野地区区長  
泉川 達也さん

今の大野地区は農協、ワークステーション、病院建設と、西和賀町の中心地に発展してきています。しかしながら旧大野で最大54戸あった農家等が、現在10戸程度が空き家状態に…。そんな中で新たな取り組みも始まっています。

カ(30人)を得て、ロウソク800個で見事な夜のエキゾチック景観を描いてくれました。このように大野地区は、集落維持のために開かれた集落を目指して、1年を通して活動しています。

集落営農組合を立ち上げ、米価の引き下げと高齢化で、耕せなくなった22ha程の農地で大豆・そば・米を作りながら農業以外の活動も行っております。

この組合を集落の活動組織の中心に位置づけ、平成28年の雪あかりでは、干支に関する雪あかりの他に、大野公民館の東側である通称ジロダロ(次郎太郎)を大キャンパスに仕立て、NTT東日本さんの協



## 志賀来の人

志賀来て頑張る人にお話を聞きます

【前郷】  
たかはし こういち  
**高橋 広一さん** (50)

黒沢尻北高校に卒業と共に西和賀を離れ仙台の郵便局に勤務。15歳から28歳まで西和賀から離れて暮らす。その後勤務地が岩手と宮城を行ったり来たり。平成22年に川尻郵便局に配属となり、川尻郵便局長として今年で8年目を迎える。前郷地区副区長も兼務。両親と妻、息子の5人暮らし。娘は仙台の大学1年生。

# 川尻郵便局

「そういえば昔こんなの食べていたっけな…」と地元を思い出してもらえそうな郷土の味を届けたい。



## こんなところに!? 志賀来人



【太田出身】 埼玉県在住  
**沢内ふるさと会事務局**

**赤石 憲明さん** (69)

関東に住みながら故郷を想う「沢内ふるさと会」。会員数462名で発足し、毎年交流会を開催。

近年高齢化のため青壮年の参加が必要です。ぜひご参加下さい!  
**赤石携帯 090-6952-2124**

お願いして、町の事業方針・結果・近況などを詳しく説明して頂いております。

「無沙汰しております。」「志賀来ふ」発刊おめでとうございます。町外在住者No.1にご紹介頂きありがとうございます。沢内ふるさと会の紹介をさせて頂きます。

昭和61年秋、沢内村出身の関東地区在住者を対象とする、田舎を慕う者達の集まりで会を発足しました。

「親ぼくを主とした会」を年一回、3月末の日曜日に開催します。出席の有無は自由で強制は一切致しません。田舎から町長、町議会議長、役場職員の参加を

## 応援しています

微力ではありますが、私も「沢内ふるさと会」を通じ、志賀来地区ふるさと交流実行委員会運用発展に協力ができれば幸いです。♪ 仰げば高き志賀来や〜 実行委員頑張れ!!

志賀来を離れて活躍する出身者に、今の生活を聞きます!

## 田舎を慕う者達の集い

微力ではありますが、私も「沢内ふるさと会」を通じ、志賀来地区ふるさと交流実行委員会運用発展に協力ができれば幸いです。

志賀来到んで子育てをしている家族に、子育て生活の実感を語ってもらいました。

## 郷土芸能で ブランクを埋める

28歳で西和賀に戻った時、先輩方から神楽に誘われ、最初は戸惑ったが、地域を離れていたブランクを埋める手段のひとつとして神楽を始めた高橋さん。「地元を離れた者が帰って来て地域になじむには、消防団に入るか、地元の伝統芸能保存会などに入るのが良いですが、自分の場合は神楽の方に入りました。」と教えてくれた。毎年8月に行われる坂本神社の祭りには、実行委員会の一員としても参加。世代を超えて多くの地区住民と繋がれることが魅力だそう。

## 西ワラビを全国へ

最初は地元の名産である「リンドウ」を個人宅配することから始めた高橋さん。西和賀町では9年ほど前から休耕田を利用したワラビの栽培研究がされ、「西ワラビ」の栽培に成功。市や産業公社、

生産者の会「ワラビネットワーク」とも協力し合い、「西ワラビ」を全国へ販路を拡大していった。

「正直最初はここまで有名になるとは思っていなかったですけど、口コミ、メディアで取り上げられ、広がっていったんじゃないですかね? 郵便局というネットワークを使ってこれからも色々な地場産品を全国へお届けしたいです!」と意気込みを語ってくれた。

## 働く原動力

志賀来への想いを尋ねると、「全国へ西和賀を知ってもらえることが今こゝで働く原動力ですね。地域の中には気づかないこと、外との交流がないと生まれないものもあると思うので、色々な人の話を聞いて多くの交流を持ちたいです。自分は外とも中ともつながりがあるので、そのことをさらに活かしていきたいですね。」と力強く語る高橋さん。これからも、西和賀の魅力がたくさん発信されていきそうです。

## 志賀来の 子育て ライフ



【東大野】

まさる  
**黒淵 優さん** (35)  
きえ  
**希恵さん** (35)  
ゆうま  
**夢磨くん** (11)  
れつ  
**烈くん** (6)  
わか  
**和奏ちゃん** (5)

高校を卒業後、仙台に進学し数年を過ごす。その後、父親の体調をきっかけに沢内へUターンを決めた。

に暮らしている。

## 大館から嫁いだ奥様

奥様は大館市出身。来てもらうことに心配はなかったかと聞くと、

「電話口で、いつ沢内に連れて行ってくれるの? って言っていましたね。それを聞いて、親に紹介する前に式場決めましたよ。(笑)」と教えてくれた。

## 同級生へ一言

「何も無いところだけど、山菜もあるし、庭で野菜作ったりするのも良い。森林組合では人材募集中だし、工場仕事もある。帰ってもいいかなと思うなら、一度真剣に考えてみて欲しいな。」

## 仙台で数年、故郷へ

高校を卒業後、仙台に進学した黒淵さん。その後数年間仙台で過ごした頃、兼業農家をしていた父親が膝を悪くしてしまい、「その時、実家には田んぼもあるし、それなら帰ってやってみたいよ。かな」と、その時思いました。」と振り返る。

その後、沢内に戻り、今では森林組合の製材工場に働いている。実家のそばの家に住み、そこに奥様と3人の子供の、合計5人で暮らしている。やんちゃ盛りりの長男次男は、兄弟ケンカも賑やか